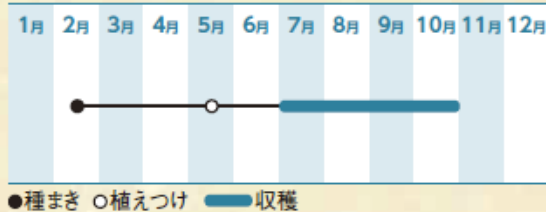




品種類
・紫とうがらし
・鷹の爪 など

栽培カレンダー



トウガラシ

栽培のポイント

① 植えつけは暖かくなってから

トウガラシは寒さに弱いです。気温が十分に上がってから苗を植えつけるのがポイントです。

② 一番果は摘果する

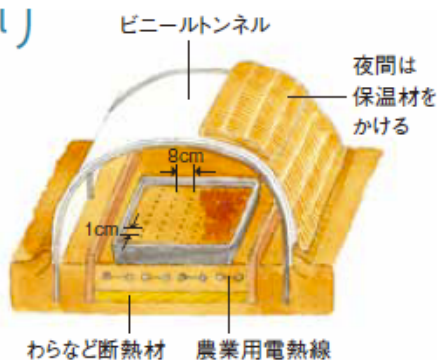
株が小さいうちに付く一番果をそのまま残してしまうと、株全体が弱って生育が悪くなってしまいます。一番果は必ず摘み取り、一番果が付いた所から下に出るわき芽もすべて取り除きましょう。

③ 収穫・貯蔵

開花後60日頃に、はじめは赤く熟した果実を1果ずつ摘み取り、その後全体が赤くなったら株ごと引き抜きます。風通しのよい日陰で2カ月ほど乾燥させると、保存中のカビの発生を防ぐことができます。

1 苗づくり

日中は20~30℃、夜間は15℃以上が目標。地温は25℃程度とする



本葉1枚のとき3号鉢に上げる



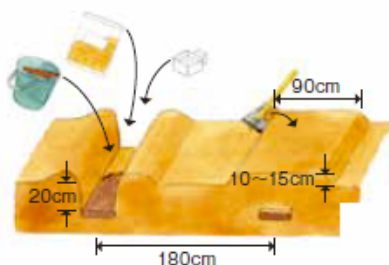
できあがった苗。本葉6~7枚



高温性で育ちが遅いので、育苗はかなり難しい。一般的には、できあがった苗を買い栽培するのがよい

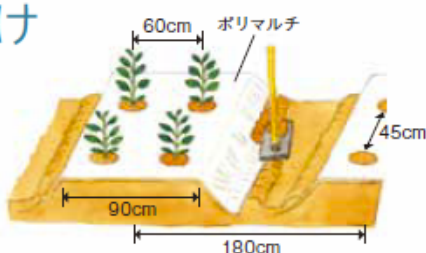
2 元肥入れ

〈畝の長さ1m当たり〉
化成肥料 大さじ3杯
油粕 大さじ5杯
堆肥 3~4握り



3 植えつけ

植えつけの2~3日前から畝にたっぷり水をやり、畝全面にポリフィルムを覆って土を温めておく



マルチの裾はしっかり土をかける

4 支柱立て・整枝

下位のわき芽は取り除き、あとは放任して側枝を多く伸ばす



枝が弱く、風で折れたり倒れたりしやすいので、支柱立ては早めに



5 追肥

第1回

定植半月後、株のまわりに肥料をばらまいて軽く土に混ぜる。花が盛んに咲き始めたころ、油粕を1株当たり2~3つまみ、マルチの穴に施す

第2回 (1株当たり)

油粕 大さじ3杯
化成肥料 大さじ2杯

1回目後、15~20日後に1回くらい畝の両側に肥料をばらまき、土に混ぜて畝に寄せる



6 収穫・貯蔵

葉トウガラシ

果実が4~5cmになったころ株ごと引き抜いて収穫し、葉をむしり取って佃煮、漬け物などに利用する



成熟果

開花後50~60日経ち、果実が真っ赤に色づいたころ、株ごと引き抜いて収穫する。軒下などに吊るして乾燥させ、乾果にして随時利用する

